

第30回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：平成26年11月13日（木） 15：30－16：40

2. 場所：内閣府宇宙戦略室大会議室

3. 出席者

(1) 委員

葛西委員長、松井委員長代理、青木委員、中須賀委員、山川委員、山崎委員

(2) 政府側

山口内閣府特命担当大臣（宇宙政策）、平内閣府副大臣、松本内閣府大臣政務官、小宮宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、頓宮宇宙戦略室参事官、内丸宇宙戦略室参事官、森宇宙戦略室参事官

4. 議事要旨

冒頭、山口大臣から以下のような挨拶があった。

山口大臣：

- ・安倍総理からのご指示から約2か月間、委員の皆様の精力的なご審議を経て、新「宇宙基本計画」（素案）を取りまとめていただいた。
- ・新「宇宙基本計画」（素案）は、安倍総理からの指示を十分に踏まえた大変意欲的な内容となっている。
- ・本日ご審議いただく「工程表」は、新「宇宙基本計画」（素案）を具体化する極めて重要なもの。
- ・「工程表」は環境変化や施策の進捗状況を踏まえ、毎年改定するものとし、これにより10年の長期計画となる新「宇宙基本計画」を硬直化させることなく、政策の一貫性と柔軟な政策展開を両立させたい。

(1) 「新宇宙基本計画の工程表」（素案）について

「新宇宙基本計画の工程表（素案）」について審議を行った。「新宇宙基本計画の工程表（素案）」については、各部会及び宇宙政策委員会で引き続き審議を行うこととなった。主な意見は以下の通り。

- 即応型の小型衛星については、今後とも検討が必要だが、具体的な目標を定めて推進することが重要。
- 将来の固体ロケットの在り方については、その意義や用途をトップダウンで決めていくことが効率的かもしれないが、ニーズの所在、費用の問題を考慮しながらさらなる検討を進める必要がある。
- 国際社会への適切な発信の観点から、適切な英語訳を早期に作成すべき。委員のほうでも用語の使い方等、チェックしていきたい。

(2) 「新宇宙基本計画（素案）の政策項目の評価プロセス等」について

「新宇宙基本計画（素案）の政策項目の評価プロセス等」について審議を行った。主な意見は以下の通り。

- 「評価プロセス」については、新「宇宙基本計画」における宇宙政策の3つの目標への貢献度合いと、プロジェクト毎の評価を、縦軸、横軸としてクロスチェックしていくことになるのではないか。